

当別 R337 信号待ち車に追突

大型タンクローリーが追突、軽乗用車の男女2人が死亡

「車が止まっているのに気づけなかった」

2018/2/14(水) 5:01

13日、当別町で軽乗用車が大型タンクローリーに追突され、乗っていた男女2人が死亡しました。

原型をとどめないほど壊れた軽乗用車。

後ろの部分はタンクローリーの下にもぐり込んだ状態になっています。

13日午前10時半ごろ、当別町の国道337号線で、信号待ちをしていた軽乗用車が大型タンクローリーに追突され、前に止まっていた別のタンクローリーとの間に挟まれました。

この事故で、軽乗用車に乗っていた解体業の男性(72)と女性(69)が死亡しました。

警察によりますと、現場に目立ったブレーキの痕はなかったということです。

追突したタンクローリーの運転手の容疑者(63)は警察の調べに対し、「車が止まっているのに気づけなかった」と話しているということです。

警察によりますと現場の状況からスピードを落とさずに追突した可能性があり、運転手の容疑者(63)を過失運転致傷の現行犯で逮捕しました。

大型トラックから、資材落下

クレーンで、資材を下ろす作業をしていた

トラックの脇でワイヤーの片付けをしていた、女性運転手に当たり、死亡

◇『吊り下』には絶対に入らない、『逃げ場』の確保◇

2018/02/13 10:12

12日午前8時25分ごろ、長野県の新築工事現場で、大型トラックの荷台から落ちた鉄製梁が近くにいた、トラック運転手の女性(22)の腰に当たった。

女性は重傷を負い、13日未明に出血性ショックで死亡した。

警察によると、梁は長さ約6.3メートル、重さ約1.5トン。

別の作業員がクレーンで資材を降ろす作業をし、女性はトラック脇で資材を固定するワイヤーの片付けをしていたという。同署が詳しい状況を調べている。